

労働移動支援助成金（再就職支援コース）訓練及びグループワーク実施証明書

(枚中 枚目)

整理番号		助成区分 (該当に○)	①訓練（再就職支援） ②グループワーク（再就職支援） ③訓練（職業訓練実施支援）	
支給対象者氏名				

(1) 訓練について (①又は③の場合)

1 訓練の実施機関		2 再委託の有無 (該当に○) (①のみ)	有 無		
3 訓練の実施期間	初日 最終日	年 月 日 年 月 日	3の期間における計画上の実施日数及び総訓練時間数	日間	時間 分
	期間	か月 日	4 うちキャリア形成に役立つ訓練分	日間	時間 分

5 訓練の内容

イ 知識・技能習得に係る訓練の内容

ロ キャリア形成に役立つ訓練の内容

6 実際の訓練の実施期間	初日 最終日	年 月 日 年 月 日	6の期間における実際の実施日数及び総訓練時間数	日間	時間 分
	期間	か月 日	7 うち実際に受講した分	日間	時間 分

(2) グループワークについて (②の場合)

1 グループワークの実施回数	回	2 グループワークを実施した日及び各時間数	年 月 日	時間 分	年 月 日	時間 分
			年 月 日	時間 分	年 月 日	時間 分
			年 月 日	時間 分	年 月 日	時間 分
			年 月 日	時間 分	年 月 日	時間 分

3 グループワークの内容（参加者の人数・属性、ディスカッションのテーマ等）

(職業紹介事業者又は教育訓練施設等の証明)

以上の記載事項に誤りのないことを証明する。

年 月 日

(円) —)

所在地

電話

事業所名

代表者名

記載にあたっては、裏面の記入上の注意を必ずご覧ください。

様式第6号（裏面）

【提出上の注意】

- 1 この証明書は、再就職に係る支援（再就職支援の一部として、訓練又はグループワークが実施されるもの。以下同じ。）等を委託した職業紹介事業者または教育訓練施設等の証明を得て、支給申請書（様式第3-1号）に添えて提出してください。
- 2 この証明書は、支給対象者ごとに作成してください。
- 3 この証明書の内容について、疑義がある場合には再就職に係る支援を委託した職業紹介事業者または教育訓練施設等に問い合わせる場合がありますので、御了承ください。

【記入上の注意】

- 1 整理番号欄には、支給対象者ごとに通し番号を付けてください。職業紹介事業者による再就職支援の一部として訓練又はグループワークを実施した者の整理番号は、様式第5号に付した整理番号と一致させてください。
- 2 助成区分欄には、実施した助成の対象となる措置について、該当箇所に「○」を付けて、支援内容に応じて、以下の「(1)訓練について」「(2)グループワークについて」にそれぞれ記入してください。

①訓練（再就職支援）	} 再就職支援の一部として職業紹介事業者によって実施される訓練又はグループワーク
②グループワーク（再就職支援）	}
③訓練（職業訓練実施支援）	…教育訓練機関によって実施される訓練

(1) 訓練について【「①訓練（再就職支援）」又は「③訓練（職業訓練実施支援）」の場合】

- 1 1欄は、実際に当該訓練を行った実施機関を記入してください。複数機関がある場合は全て記入してください。
- 2 「(1)訓練（再就職支援）」を実施した場合 2欄は、当該訓練が、再就職に係る支援を委託した職業紹介事業者からの再委託により行われたものかについて、該当箇所に「○」を付けてください。一部でも再委託した訓練がある場合は、「有」に「○」を付けてください。
- 3 3欄は、当該支給対象者に計画していた訓練の実施期間の初日及び最終日並びにその期間を記入してください。期間は、初日の翌月以降の応当日の前日までを1月として月数を数え、1月に満たない期間が生じる場合は、応当日から最終日までの日数を数えてください。（例）初日が4月15日で最終日が6月30日の場合の期間は2か月と16日。）。
- 4 4欄は、3の期間における訓練の計画上の実施日数と総訓練時間数を記入してください。なお、総訓練時間が10時間以上であることが必要です。

下欄には、そのうちキャリア形成に役立つ訓練の計画上の実施日数及び総訓練時間数を記入してください。なお、訓練内容の割合については、キャリア形成に役立つ訓練の時間数が、総訓練時間数の5割以下であることが必要です。

- 5 5欄は、訓練の内容について次のイ及びロに区分して詳細に記入してください。

イ 知識・技能習得に係る訓練の計画内容

支給対象者の再就職先での職務の遂行に必要となる技能・知識の向上を図る訓練をいいます。（例：技能習得に係る訓練、ビジネススキル・ソーシャルスキル習得に係る訓練等）

ロ キャリア形成に役立つ訓練の計画内容

支給対象者のキャリア形成に役立つ事項に係る技能・知識の向上や理解の促進を図る訓練をいいます。（例：キャリア意識形成に係るセミナー、将来設計・独立起業に係るセミナー、メンタル・セルフコントロールに係るセミナー等）

- 7 6欄は、訓練の実際の実施期間の初日及び最終日（当該支給対象者の就職の内定等により予定されていた訓練が受講できなかった場合は、当該受講の最終日）並びにその期間を記入してください。期間は、初日の翌月以降の応当日の前日までを1月として月数を数え、1月に満たない期間が生じる場合は、応当日から最終日までの日数を数えてください。（例）初日が4月15日で最終日が6月30日の場合の期間は2か月と16日。）。

- 8 7欄は、6の期間における実際の訓練の実施日数及び総訓練時間数を記入してください。下欄には、そのうち実際に受講した実施日数及び総訓練時間数を記入してください。実施された訓練のうち8割以上を実際に受講していることが必要です。

(2) グループワークについて【「②グループワーク（再就職支援）」の場合】

- 1 1欄は、当該支給対象者を含むグループワークを実際に実施した回数を記入してください。3回以上実施していることが必要です。
- 2 2欄は、グループワークを実施した日及び各日におけるグループワークの時間数を記入してください。各1回あたり1時間以上であることが必要です。
- 3 3欄は、実施したグループワークの内容（参加者の人数・属性、ディスカッションのテーマ等）について記入してください。